

地域(公民館)の立場を生かした 学校運営協議会2年目へのアプローチ



尾道市河内公民館

0 内容

学校運営協議会2年目へのアプローチ

地域の学びをコーディネートする仕掛け

御調地域学校運営協議会について

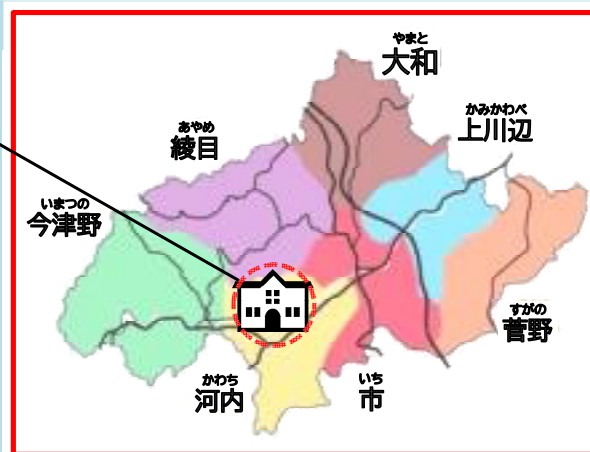
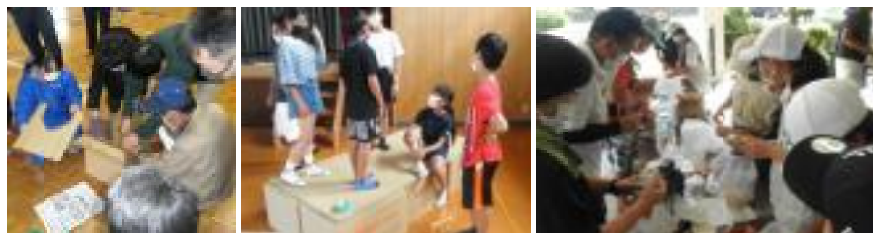
まとめ

所在地	沿革・年表
尾道市 御調町 丸河南90-1	昭和30年 御調郡御調町丸河南に河内公民館 設置 昭和62年 現河内公民館 新築落成 平成17年 尾道市と合併 尾道市河内公民館へ

- 地区内の **諸団体の事務局** として、様々な活動や事業の企画・運営を担っている。

※ 社会福祉協議会・青少年健全育成・公衆衛生協議会総会・コミュニティづくり・自主防災会・盆踊り大会・敬老会

- 館内に「放課後児童クラブ」が開設されており、子どもから高齢者までが行き交う場となっている。
- 様々な行事を通して、地元の良さを再発見してもらい、地元愛を育んでいける交流の場となることを目指している。



地図提供:「みつぎ空き家バンク」<https://mitsugiakiya.jp/step2/>

1 背景 学校運営協議会2年目へのアプローチ

公民館を拠点として、地域と学校が
つながりのあるまちづくりを目指す。
「地域とともにある学校づくり、
学校を核とした地域づくり」

つながり期

- 是正指導がきっかけで、地域と学校のつながる機会が増加。
- 地域の「関わり合いながら子供たちを育てたい」という思い等があった。その素地を生かしたい...

関係づくり期

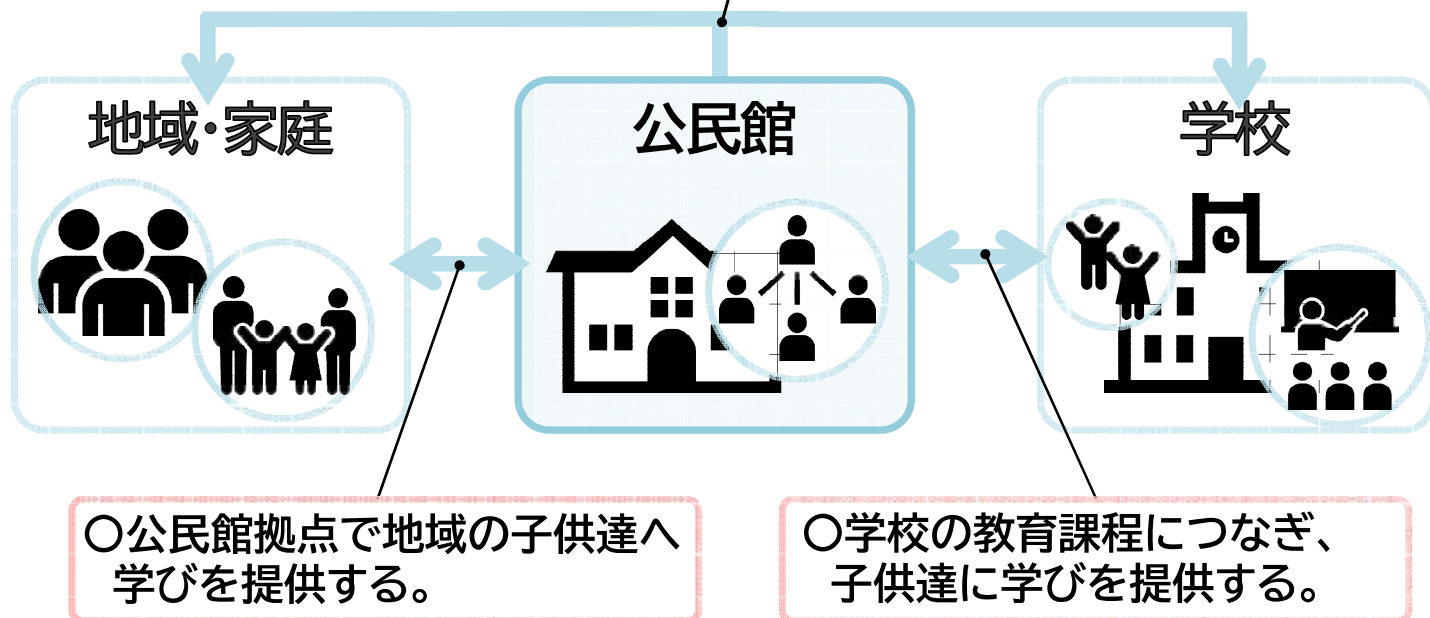
- 可能な限り学校へ出向き、教職員との関係づくりや、情報収集を行ってきた。
- 学校・地域での学び、大人・子供の学びなど双方向の学び合いを生み出す主催事業を企画・実施を目指した。

CS立ち上げ期

- R5～
○1中2小の御調地域学校運営協議会設置。
- CSの仕組みを活かして、
 - ◆目標を合わせる
 - ◆ビジョンの共有
 - ◆現状・課題の把握
 - ◆活動の共有
 - ◆アイデア出し
 等を進めている。

2 取組 地域の学びをコーディネートする仕掛け

○大人・子供の双方向の学び合いが生まれる機会を提供する。



2 取組 地域の学びをコーディネートする仕掛け

河内公民館
主催事業

○公民館拠点で地域の子供達へ学びを提供する。



令和5年度

事業名	実施月	会場	概要	参加人数
自衛官に学ぶ 防災講座	4月	御調 体育センター	自衛官による簡易担架づくりやクイズ形式での防災学習	45
イチゴ狩り 体験会	5月	河野園芸	地元のお宝探訪のとして、体験を通して、地元愛を育む。	48
サマーキャンプ	7月	御調西小学校 グラウンド	飯ごう炊飯、キャンプファイヤーにより、親子・地域のふれあいが生まれた。	38
オンリーワン事業 「夏休み虫の教室」	8月	いきいきロード 河内公民館	昆虫採集と生き物との接し方の体験でにより、地域の自然を知る。	20
クリスマスリース づくり教室	11月	河内公民館	地域の方を講師に招き、地域で採れた草花を使つてのリースづくり体験	10
子どもモノづくり教室 ハーバリウム教室	12月	河内公民館	ハーバリウムづくりを通して、地域の自然について学ぶ。	28
チョークアート教室	12月	河内公民館	チョークアート体験。講師は、市内の方が担当した。	27
皆で遊ぼう！	3月	河内公民館	地域の方と子どもと、軽い体操などを通して触れ合った。	34



2 取組 地域の学びをコーディネートする仕掛け

河内公民館
主催事業

○学校の教育課程につなぎ、
子供たちに学びを提供する。



令和5年度

事業名 (関連した教科)	実施月	会場	概要	参加人数
陶芸体験教室 (小5・図画工作)	11月 R6/1月	御調西小学校	地域の方を対象に陶芸教室を開催している地元の講師を招いて開催。	32
しめ縄づくり 体験教室 (小4・総合)	12月	河内公民館	地域の神社や個人宅のしめ縄飾りをつくる事業に併せて、児童が栽培した稲わらを利用してしめ縄作成を体験。	54
化石のクリーニング 体験会 (小6・理科)	R6/1月	御調西小学校	神石高原町の油木協働支援センターの協力で、にしかわ化石館の職員を講師として開催。	21
とんど祭り (小4・総合)	R6/1月	御調西小学校 グラウンド	自分達が栽培した稲葉を活用して、協力してとんどを作成する体験活動。	28
椎茸栽培体験 (小1小2・生活)	R6/2月	御調西小学校	椎茸菌を木に植え付け、収穫まで体験。低学年で植え付け、高学年になるまで育て続ける。	28



2 取組 地域の学びをコーディネートする仕掛け

河内公民館
主催事業

○学校の教育課程につなぎ、
子供たちに学びを提供する。



令和5年度

椎茸栽培体験
×
小1小2・生活科

しめ縄づくり体験教室
×
小4・総合的な学習の時間



2 取組 地域の学びをコーディネートする仕掛け

河内公民館
主催事業

○学校の教育課程につなぎ、
子供たちに学びを提供する。



令和5年度

陶芸体験教室

×

小5・図画工作

化石クリーニング体験

×

小6・理科



2 取組 地域の学びをコーディネートする仕掛け

河内公民館
主催事業

○大人・子供の双方向の学び合いが
生まれる機会を提供する。



令和6年度

河内公民館まつり × 小6・総合的な学習の時間



○企画・準備から
子供たちが参画

○大人も子供も
当事者として参画



1 背景 学校運営協議会2年目へのアプローチ

公民館を拠点として、地域と学校が
つながりのあるまちづくりを目指す。
「地域とともにある学校づくり、
学校を核とした地域づくり」

CS立ち上げ期

R5～
○1中2小の御調地区
学校運営協議会設置。

○CSの仕組を活かして、
◆目標を合わせる
◆ビジョンの共有
◆現状・課題の把握
◆活動の共有
◆アイデア出し
等を進めている。

関係づくり期

○可能な限り学校へ
出向き、教職員との
関係づくりや、情報
収集を行ってきた。
○学校・地域での学び、
大人・子供の学びなど
双方向の学び合いを
生み出す主催事業を
企画・実施を目指した。

つながり期

○是正指導がきっかけで、
地域と学校のつながる
機会が増加。
○地域の「関わり合いなが
ら子供たちを育てたい」
という思い等があった。
その素地を生かしたい…

基本情報 御調地域学校運営協議会について

所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域 コーディネーター
		設置年度	委員数	年間開催回数	
尾道市 御調町	尾道市立御調中学校 110名 尾道市立御調中央小学校 142名 尾道市立御調西小学校 77名	令和5年度	10名	4回 ※3校を順に 会場とする	地域住民 1名 ※元・御調西小 教頭先生

スクールミッション

地域の教育力を生かした御調プライドを醸成する教育の推進



地域の特徴

○地域全体では高齢化率の上昇と少子化が進んでいるが、一部地域では子育て世代の転入が増えている。

学校運営協議会の概要

委員の構成

○1中2小のPTA会長
○元小学校長(元人権擁護員)
○民生委員
○河内公民館長
○子育て支援サークル会長
(NPO法人代表)
○道の駅クロスロードみつぎ駅長
○元小学校 教職員2名

これまでの議題例

<R5>
○御調地域で育てたい
子供の姿

<R6>
○御調地域の教育力は
何か？
○どんな御調プライド
を持たせたいか？

○「地域の人と出会ったらあいさつができる子供になってほしい」等、育てたい子供の姿の共有
○学校・保護者・地域の立場での取組を意見交流
○地域学習材料を学校間で連携の方向性の確認

スクールミッション

地域の教育力を生かした御調プライドを醸成する教育の推進

学校教育目標

- | | | |
|-------------------------------|---|----------------|
| 【御調西小】
確かな力で未来を拓く
教育の創造 | 【御調中央小】
心豊かに たくましく 共に
学び伸びる「けやきっこ」
の育成 | 【御調中】
感謝と貢献 |
|-------------------------------|---|----------------|

御調中学校区9年間で児童生徒に身に付けさせたい資質・能力

- 課題や目的に応じて、必要な知識や情報を選択し、活用することができる。
- 既習の知識や情報を比較・分類・関係付ける等して、論理的に考え、表現することができる。
- 自ら課題を見つけ、その解決に向けて進んで挑戦し、やり抜くことができる。
- 地域を知り、地域に愛着を持ち、グローバルな視点に立つことにより、広い視野で物事を多角的に捉えることができる。

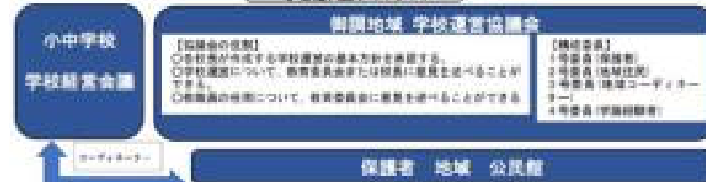
学校経営目標

- | | | |
|--|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 【御調西小】
夢広がる地域の学校
・個性も伸ばす学習環境
・豊かな心・健康
・豊かな心・健康 | 【御調中央小】
信頼される学校づくり
組織で育てる生きる力 | 【御調中】
保護者・地域の期待に応え、
信頼される学校をつくる |
|--|-------------------------------------|---------------------------------------|

令和6年度 経営の重点

- | | | |
|---|--|--|
| 確かな学力の育成
・基礎から応用まで、段階的な学習の推進
・全ての子どもが学力向上を目指す学習環境 | 豊かな心と体の育成
・ふたつの学び、心から身体に、健康的に
・「けやきっこ」で育つ心と体の成長を促す学習環境 | 地域と共に歩む学校
・ふるさと愛着に繋がる学習、地域の魅力・課題を学ぶ学習
・御調への愛着の醸成と誇りを育む学習
・御調の発展に貢献する人材の育成 |
|---|--|--|

学校評価システム



御調中



御調西小 御調中央小



スクールミッション

地域の教育力を生かした御調プライドを醸成する教育の推進

学校教育目標

- | | | |
|-------------------------------|---|----------------|
| 【御調西小】
確かな力で未来を拓く
教育の創造 | 【御調中央小】
心豊かに たくましく 共に
学び伸びる「けやきっこ」
の育成 | 【御調中】
感謝と貢献 |
|-------------------------------|---|----------------|

御調中学校区9年間で児童生徒に身に付けさせたい資質・能力

- 課題や目的に応じて、必要な知識や情報を選択し、活用することができる。
- 既習の知識や情報を比較・分類・関係付ける等して、論理的に考え、表現することができる。
- 自ら課題を見つけ、その解決に向けて進んで挑戦し、やり抜くことができる。
- 地域を知り、地域に愛着を持ち、グローバルな視点に立つことにより、広い視野で物事を多角的に捉えることができる。

学校経営目標



基本情報 御調地域学校運営協議会について

所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域 コーディネーター
		設置年度	委員数	年間開催回数	
尾道市 御調町	尾道市立御調中学校 110名 尾道市立御調中央小学校 142名 尾道市立御調西小学校 77名	令和5年度	10名	4回 ※3校を順に会場とする	地域住民 1名 ※元・御調西小 教頭先生

スクールミッション

地域の教育力を生かした御調プライドを醸成する教育の推進



地域の特徴

○地域全体では高齢化率の上昇と少子化が進んでいるが、一部地域では子育て世代の転入が増えている。

学校運営協議会の概要

委員の構成	これまでの議題例
○1中2小のPTA会長 ○元小学校長(元人権擁護員) ○民生委員 ○河内公民館長 ○子育て支援サークル会長(NPO法人代表) ○道の駅クロスロードみつぎ駅長 ○元小学校 教職員2名	<R5> ○御調地域で育てたい子供の姿 <R6> ○御調地域の教育力は何か？ ○どんな御調プライドを持たせたいか？

- 「地域の人と出会ったらあいさつができる子供になってほしい」等、育てたい子供の姿の共有
- 学校・保護者・地域の立場での取組を意見交流
- 地域学習材料を学校間で連携の方向性の確認

令和6年8月6日 第2回学校運営協議会



第2回学校運営協議会と
3校の合同研修会とコラボし、
全職員が参加

令和6年8月6日 第2回学校運営協議会



小学校・中学校の教職員と、
学校運営協議委員で熟議

令和6年8月6日 第2回学校運営協議会

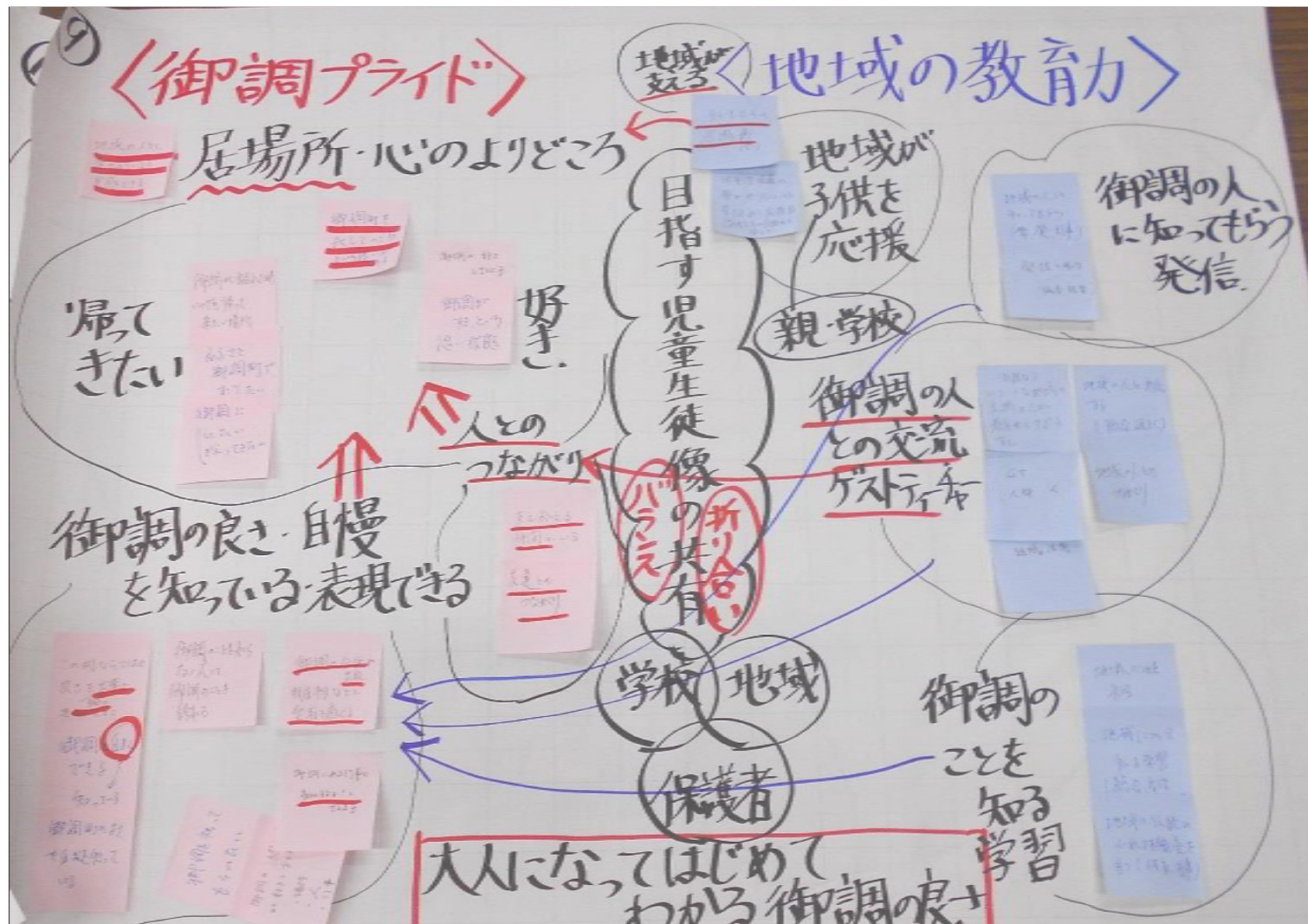


「御調の宝は何か？」について、
ラベルワークをしながら熟議

令和6年8月6日 第2回学校運営協議会



グループでの発表では、
新たな発見や意見が生まれ、
地域の教育力の見える化につながった。



令和6年11月26日 第3回学校運営協議会



課題や困っていることに対して、
一体となって取り組むべきことを
様々な意見交流が行われた

令和6年11月26日 第3回学校運営協議会

「御調プライド」の醸成に向けて
学校・保護者・地域が一体となって
取り組むべきことは何か？
というテーマで熟議



各学校の課題・困っていること
を出し合い、情報共有を行う

4 まとめ

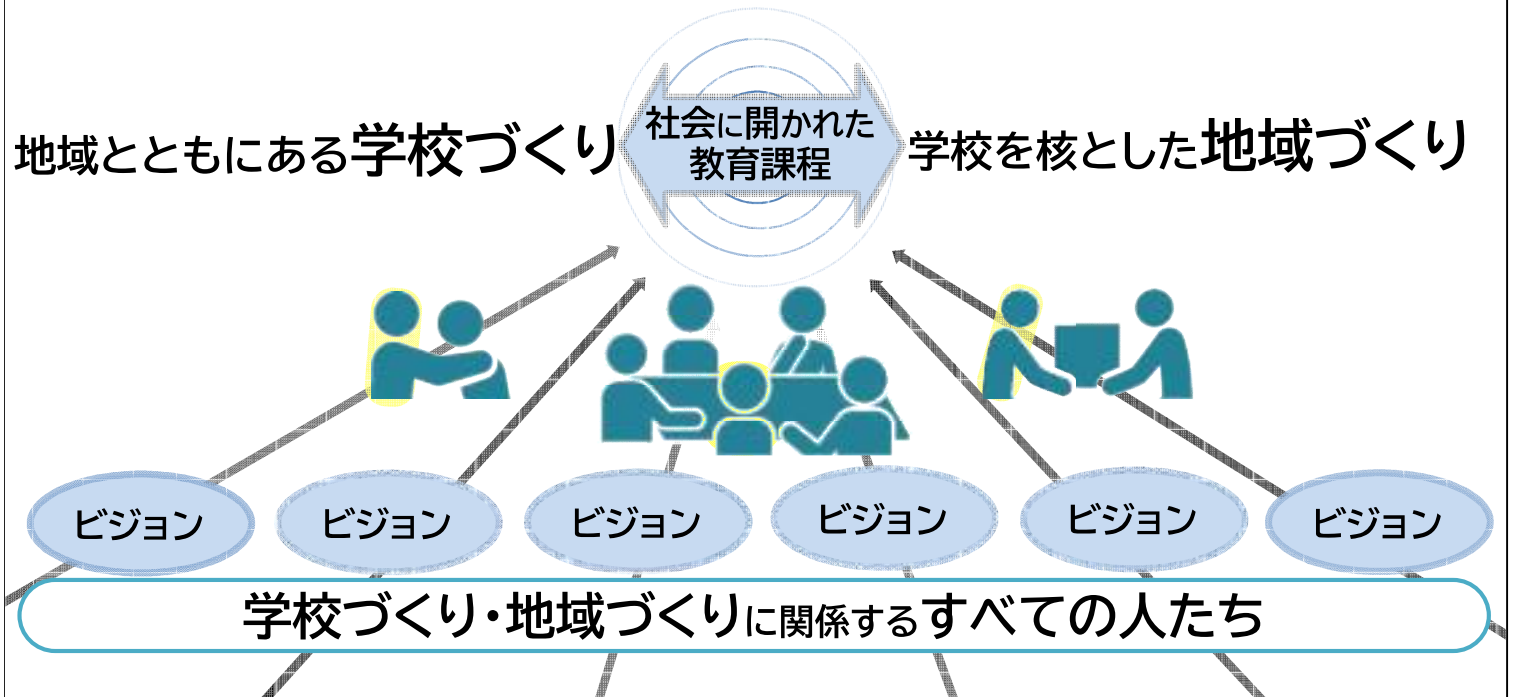
○「学校での学び」と「地域での学び」
「大人の学び」と「子供の学び」といった
双方向の学び合いを大切にする。

○共有、理解(相互、各々)、対話の大切さを
学校・地域の中で活かす。

○これからの地域づくりのために、
活動や行事を通して、人々の「つながり」や「かかわり」
を作り出し、協力し合える関係づくりの土壌を耕す。

考え方

○「学校での学び」と「地域での学び」
「大人の学び」と「子供の学び」といった
双方向の学び合いを大切にする。



4 まとめ

○「学校での学び」と「地域での学び」
「大人の学び」と「子供の学び」といった
双方向の学び合いを大切にする。

○共有、理解(相互、各々)、対話の大切さを
学校・地域の中で活かす。

○これからの地域づくりのために、
活動や行事を通して、人々の「つながり」や「かかわり」
を作り出し、協力し合える関係づくりの土壌を耕す。

○共有、理解(相互、各々)、対話の大切さを
学校・地域の中で活かす。

令和6年度

子どもと地域をつなぎ、社会に関われた教育を実現するための
要となる人材をつくる

地域学校協働活動コーディネーター 養成講座(兼)理解促進研修

対象

◆学校運営協議会委員、市町教委委員会または校長が推薦する者、
地域学校協働活動推進員

◆教職員

◆コミュニケーション・スキルまたは社会教育関係行政職員

◆講師・協賛先：特別支援学校を拠点として、コミュニケーション・スキルと地域で活動経験のある教職員、各自治体の「認知症サポーター」が中心となる推進員、企業・NPO等、市民活動推進員等、市町村教育委員会等（以上が協賛先とする者、協賛先が協賛活動費を負担し、受講料を半額に減額していただく）、
市町村と市町村をまたがる受講者とする。

**第1回
8/28
(土)**



宮山 まさ子

講師「認知症高齢者学習の、授業全体の環境の整備」

講師「地域学校協働活動コーディネーターに求められる役割に留意、
講師「子どもから見た認知症の理解」
講師「認知と教育実践研究」 丸山 孝 氏

**第2回
8/29
(土)**



加藤 健二

講師「各地に開かれた教育課程の展開について」

講師・国家「活動デザイン」

講師「一歩先を踏み出すための心算と 実践」 伊 良

**第3回
9/23
(土)**



加藤 健二

講師・講師「学校運営協議会における教育課程の充実策」

講師・講師「プロフェッショナルマネジメント」

講師・広島県学校協働コーディネーター 伊藤 純彦 氏

15日以内一括受講するコースがあります。






広島県立生涯学習センター

〒730-0272 広島県広島市東区 1-1-1, 41
 TEL 082-246-1111 FAX 082-246-1112
 郵送 広島県立生涯学習センター 庶務課
 〒730-0272 広島県広島市東区 1-1-1, 41
 082-246-1111 (受付時間: 月曜～金曜 午前9時～午後5時)

お問い合わせ先





4 まとめ

○「学校での学び」と「地域での学び」
「大人の学び」と「子供の学び」といった
双方向の学び合いを大切にする。

○共有、理解(相互、各々)、対話の大切さを
学校・地域の中で活かす。

○これからの地域づくりのために、
活動や行事を通して、人々の「つながり」や「かかわり」
を作り出し、協力し合える関係づくりの土壌を耕す。